

I 事業の状況

I. 公益事業

1. 学術講演会の開催

第 109 回日本精神神経学会学術総会を、神庭重信会長、中村純副会長のもとに、平成 25 年 5 月 23 日～25 日の三日間開催した。福岡国際会議場と隣接する福岡サンパレスホテル&ホールに於いて「世界に誇れる精神医学・医療を築こう：5 疾病に位置づけられて」をテーマとし、特別講演 4 題、会長講演、招待講演 7 題、先達に聴く 3 題、ランチタイムセッション 3 題、教育講演 17 題、メインシンポジウム 12 題、シンポジウム 44 題、International Symposium 6 題、トピック・フォーラム 18 題、ワークショップ 24 題、市民公開講座 2 題の学術講演会を行い、活発な発表・討論がなされた。参加者数は 6000 人を超え、盛会のうちに終了した。

II. 機関誌刊行物事業

(1) 精神神経学雑誌（和文誌）の刊行

- ・第 115 巻第 4 号より第 116 巻 3 号まで月刊で 12 号分、延べ 1142 ページを刊行した。
（発行部数：各号約 16,000 部）
- ・平成 25 年 8 月より本誌への投稿の利便性を高める目的で、オンライン論文投稿システムを導入した。
- ・和文誌も刊行からの歴史が長くなった為、より良い状態で過去の刊行物の内容を保存できるよう、アーカイブ化を開始した。

(2) Psychiatry and Clinical Neurosciences（英文誌）の刊行

第 67 巻 第 3 号～第 7 号および、第 68 巻 第 1 号～第 3 号までの 8 号分 663 ページを刊行した。
（発行部数：各号 約 400 部）

上記 2 誌の定期刊行物の他、

『臨床医のための司法精神医学入門』教育問題委員会 司法精神医学作業部会 編を平成 25 年 6 月に新興医学出版社より出版した。

III. 委員会活動事業

(1) 下記各種委員会を設置し、所管の事項の審議およびそれにもとづいた研究・調査等の活動を行った。

本学会基本理念のもと、精神保健・医療・福祉の質的向上に貢献することを委員会活動の基本に置き、学術研究のみならず臨床に関する現実的な課題についても取り組んだ。委員会活動は以下の 6 部門から構成され、幅広く活動を実施した。活動内容の詳細については、別紙・平成 25 年度委員会活動報告を参照いただきたい。

一 平成 26 年 3 月時点での各部門に属する委員会（計 47 委員会）

■ 学術・教育部門

1. 精神科用語検討委員会/精神科病名検討連絡会
2. 精神神経学雑誌編集委員会
3. PCN 編集委員会
4. 精神医学奨励賞・精神医療奨励賞選考委員会
5. フォリア賞選考委員会
6. 学術総会企画委員会
7. 精神医療・精神医学情報センター運営委員会
8. ICD-11 委員会
9. 精神療法委員会
10. 小児精神医療委員会
11. 司法精神医学委員会
12. 精神医学研究推進委員会
13. WPA Regional 大会準備委員会

■ 専門医制度部門

1. 専門医制度常任委員会 2. 専門医制度卒後研修委員会 3. 専門医制度試験委員会
4. 専門医制度資格・研修施設認定委員会 5. 専門医制度生涯教育委員会
6. 専門医制度整備委員会 7. サマースクール実行委員会

■ 精神保健・医療・福祉部門

1. 精神医療・保健福祉システム委員会/精神疾患医療計画プロジェクト班
2. 精神保健福祉法特別委員会 3. 精神保健に関する委員会 4. 医療経済委員会
5. 精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会
6. 心理技術職の国家資格化に関する委員会 7. アンチスティグマ委員会
8. ECT・rTMS 等検討委員会 9. 多職種協働委員会 10. 性同一性障害に関する委員会
11. 災害支援委員会/災害支援連絡会
12. 薬事委員会/向精神薬の副作用診断・治療マニュアルタスクフォース班

■ 法・倫理部門

1. 法委員会 2. 医療倫理委員会 3. 倫理委員会

■ 広報・国際部門

1. 国際委員会 2. 広報委員会 3. 出版委員会

■ 庶務部門

1. 学会諸規則委員会 2. 情報システム委員会 3. 財務・特定資産検討委員会
4. 利益相反委員会 5. 情報管理委員会 6. 各種委員会活動評価委員会
7. 代議員総会議事運営委員会 8. 男女共同参画委員会 9. 代議員選挙管理委員会

IV. 精神医学・精神医療奨励賞事業及びフォリア賞事業

1) . 精神医学・精神医療奨励賞事業

・精神医学奨励賞

受賞者 : 木下 誠、竹内啓善

・精神医療奨励賞

受賞者 : 一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ
(代表会員: 原 敬造)

2) . フォリア賞事業

受賞者 : Toshiaki A. Furukawa

受賞対象論文 : Cognitive-behavioral therapy modifies the naturalistic course of social anxiety disorder:
Findings from an ABA design study in routine clinical practices

V. 国際交流事業

世界精神医学会 (WPA)、その他精神科関連の国際学会との国際学術交流をはかった。

具体的には、以下のような活動を実施した。

- ・年次学術総会において、英語での演題発表ならびに海外からの参加者の受付を行った。
- ・海外若手精神科医を 109 回学術総会に招聘し、以下のシンポジウムの企画・実施、ならびに「JSPN Fellowship Award」を授与した。

< 第 109 回学術総会 International Symposium >

- ・ International Discussion of At Risk Mental State (ARMS) and First Episode Psychosis (FEP) [I]
- ・ International Case Discussion of Japan's Modern Depression (I) Sociocultural Background and Diagnosis

- ・ International Case Discussion of Japan's Modern Depression (II) Treatment, Industrial Health Consultation, Rehabilitation for Return to Work
- ・ International Discussion of At Risk Mental State (ARMS) and First Episode Psychosis (FEP) [II]

<JSPN Fellowship Award 受賞者一覧>

Alexander Nawka (Czech Republic)
 Alexandr Merkin (Russia)
 Aswin Ratheesh (Australia)
 ATIQUL HAQ MAZUMDER (Bangladesh)
 Hanson Park (Korea)
 Julia Unser (Germany)
 Michael Birnbaum (USA)
 Nazila Shahmansouri (Iran)
 Nisarat Wadchareeudomkarn (Thailand)
 Tanya Louise Hall (Australia)
 TARUN YADAV (India)

- ・ 国際学会にて口頭発表を行った日本の若手会員に、「国際学会発表賞」を授与した。
 受賞者 : 中村 充宏
- ・ 本年度より、日本精神神経学会の国際活動を支援する国際アドバイザーと日本精神神経学会との協働の促進を目的として、国際アドバイザー制度を新たに設け、下記の 19 名の先生を委嘱した。
 <国際アドバイザー>
 Bhugra, Dinesh / Sartorius, Norman / Maj, Mario / Moller, Hans-Jurgen / Gaebel, Wolfgang
 Lieberman, Jeffrey / Yu, Xin / McGorry, Patrick / Udomratn, Pichet / Saxena, Shekhar
 Wasserman, Danuta / Phillips, Anthony / Lee, Min Soo / Chiu, Helen / Meltzer, Herbert
 Dilip V. Jeste / Frank Huang-Chih Chou / Belfort, Edgar / Riba, Michelle B
- ・ Royal Australia New Zealand College of Psychiatrists 50 周年大会に会員を派遣した。
- ・ WPA 関連学会に、本学会の活動を紹介するパンフレットを送付した。

VI. 専門医認定事業

- 精神科専門医を目指す研修医からの研修手帳購入受付および研修開始申請書の受付を行った。
- 生涯学習活動の推進のための「生涯教育研修会」を平成 25 年 5 月 26 日に実施した。
- 精神科専門医制度指導医を対象とした「指導医講習会」を、平成 25 年 5 月 25 日、平成 25 年 9 月 8 日、平成 26 年 1 月 26 日に実施した。
- 若い世代に精神科の素晴らしさ・面白みを知ってもらい、精神科専門医となる人の数を増加させる為、初期研修医等を対象とした「第 1 回精神科サマースクール」を平成 25 年 8 月 16 日、平成 25 年 8 月 17 日の両日に実施した。
- 平成 25 年 8 月 17 日、平成 25 年 8 月 18 日の両日に「精神科専門医認定試験」および「同（再受験）」および「同（平成 20 年 9 月 30 日までに申請された方）の再受験」を実施し、新たに精神科専門医を認定した。

- 「精神科専門医制度研修施設」の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- 「精神科専門医制度指導医」の新規委嘱審査、更新審査を行った。
- 精神科専門医の資格更新審査を行った。
- 精神科専門医資格認定更新にかかる研修（ポイント対象）としての学会、研修会、研究会等の新規認定審査、更新認定審査を行った。
- その他、専門医制度委員会内の各委員会において、各担当事項について検討を行った。

VII. 情報に関する事業

精神医療、精神医学に関する情報は膨大であり、本学会は、その中から精神医療・精神医学に関する提言・意見、または診断や治療に関するガイドラインの策定などを適宜公表することが学術団体としての責務であると考え活動してきた。

■ 学会ホームページを通じた情報提供

ホームページでは、各委員会活動の研究結果等による情報を、誰でもアクセスが可能な場所に掲載し、多くの人が閲覧できるようになった。

■ プレスセミナーの実施

精神医学・医療にまつわる多くのセッションを扱う機会である年次学術総会の前週に、より多くの方にその内容に興味を持っていただき、また、精神医学・医療への理解を深めていただく目的で、報道関係者を対象に第1回プレスセミナーを実施した。

■ 会員専用ページを通じた情報提供

会員専用ページに、自身の会員情報管理や各種の会員向け情報を本年度も多く配信した。

■ プライバシーマークの取得

本学会は15,000人以上の会員を有し、扱う情報も広範かつ膨大な量になりつつある。このような状況を鑑み、情報管理をより適切に執り行うべく、プライバシーマークを取得した。

■ 精神医療・精神医学情報センターの設置ならびにWeb調査の実施

会員のみならず、広く国民との精神医療、精神医学に関する情報、知識の双方向性の伝達、交換にも資するために、その拠点として本学会に精神医療・精神医学情報センターが本年度より設置された。

本学会としては初めてWeb調査を導入し、以下の2つの調査を実際にWeb調査にて行った。

- ・精神科医の勤務状況に関する調査
- ・精神疾患の療養期間及び業務災害に関連した精神科医の役割に関するアンケート調査

以 上